

<b>Numbering code</b>	U-LAS06 20015 SJ41				
<b>Course title</b> <English>	グローバル規範論基礎ゼミナール Introductory Seminar on Global Ethics	<b>Affiliated department, Job title, Name</b>	Graduate School of Global Environmental Studies Professor, USAMI MAKOTO		
<b>Group</b>	Humanities and Social Sciences	<b>Field(Classification)</b>	Jurisprudence, Politics and Economics(Issues)		
<b>Language</b>	Japanese	<b>Old group</b>	Group A	<b>Number of credits</b>	2
<b>Number of weekly time blocks</b>	1	<b>Class style</b>	seminar	<b>Course offered year/period</b>	2019・Second semester
<b>Day/period</b>	Fri.5	<b>Target year</b>	All students	<b>Eligible students</b>	For all majors
<b>[Outline and Purpose of the Course]</b>					
地球環境問題・貧困問題・移民問題など、グローバルな問題がますます増加し深刻化しつつある今日、これらの問題の現状を評価し対策を提言する規範理論は、重要性をいっそう高めつつある。本ゼミナールでは、グローバルな問題とりわけ地球温暖化に応答する規範理論について、英語基本文献の輪読と、文献理解を前提にした自由討論とを行った後、国境を超える問題のなかから自由にテーマを選択して発表を行う。					
<b>[Course Goals]</b>					
本科目の到達目標は、グローバルな問題に関して、規範的な分析力・構想力を習得することにある。					
<b>[Course Schedule and Contents]</b>					
前半では、気候の正義と呼ばれる、地球温暖化問題をめぐる正義に関する研究を取り上げる。英語基本文献の内容を履修者間で分担して報告した上で、それに基づいて自由討論を行う。					
後半では、気候の正義を含めた越境的問題について、自由テーマ発表と質疑応答を行う。					
その他、ディベート大会、ロール・プレイング・ゲーム等を行う可能性もある。					
<b>[Class requirement]</b>					
None					
<b>[Method, Point of view, and Attainment levels of Evaluation]</b>					
座席表を作成した上で、報告・発表時の配布資料および口頭発表の内容と、自由討論や質疑応答への準備・積極性とに基づいて、成績評価を行う。					
ゼミナールの内容を考慮して、報告・発表予定回の授業を1回でも欠席した場合や、報告・発表予定でない回の授業を、1回を超えて欠席した場合には、原則的に単位を修得できない。遅刻は減点対象となる。					
<b>[Textbook]</b>					
取り扱う英語論文は、授業時に事前配布されるか、KULASIS上に事前にアップされる。					
Continue to グローバル規範論基礎ゼミナール(2)					

## グローバル規範論基礎ゼミナール(2)

### [Reference book, etc.]

( Reference book )

Introduced during class

### [Regarding studies out of class (preparation and review)]

前半では、履修者全員が、英語基本文献を毎回あらかじめ予習しておくよう求められる。また、報告予定者は配布資料を各自で用意する。

後半では、履修者全員が自由テーマ発表の準備を行う。

### [Others (office hour, etc.)]

履修者には、先端的テーマの主要学説の学習と、実践的問題をめぐる自由討論・自由発表との両方を楽しんでもらえればと思っている。